

冬休み中のインターネット利用で 気を付けるポイント

冬休み中は、子どもたちがインターネットに触れる時間が増えるほか、インターネットに接続できるゲーム機やタブレットなどを買い与えてもらう子どもも多くなります。インターネット上のトラブルに巻き込まれないために、校種ごとにどのようなポイントに気を付ければよいかをまとめてみました。



気を付けたいポイント

《小学生》 機器を与える際のルールづくりを

冬休みにゲーム機やタブレットなどのインターネット機器を子どもに買い与えるという御家庭も多いのではないのでしょうか？インターネット機器を子どもに与える前に、大人がフィルタリングなどの設定を行い、ルールを決めてから利用させるようにしましょう。

参考：[入学・進級するお子さんにスマホやゲーム機を与える前に（2016年2月更新）](#)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/h0216.pdf>



《中学生》 スマートフォンの長時間利用対策を

勉強中や寝る直前などの利用は生活に悪い影響が出る可能性があります。使い過ぎているようであれば一声かけて、子どもたち自身がもっと有意義な時間の使い方ができないかを考えるきっかけを作ってあげましょう。

参考：[夏休みに注意すべきネットの長時間利用とその利用傾向（2016年6月更新）](#)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/h0616.pdf>



《高校生》 SNSの危険性を再確認

SNSの利用頻度が多くなる傾向があります。SNSには出会いや犯罪目的で声をかけてくる人もいますので、知らない人からメッセージが送られてきても安易に返信しないよう、指導しましょう。

参考：[「コミュニティサイト」も危険？使い方次第で大きなトラブルに（2015年12月更新）](#)

<https://webreport.pit-crew.co.jp/hokkaido/helpsite/image/h1215.pdf>



御家庭での対応

御家庭では、子どもの年齢だけではなく、インターネットに関する知識や経験も踏まえた上での指導が効果的です。長期休業時には子どもがどのような目的や方法でインターネットを使っているかを観察するチャンスでもありますので、子どもの利用状況を把握した上で、気を付けなければならない観点や必要なルールなどを子どもと一緒に話し合ってみましょう。